

の主要素とする。胎土には微細砂粒を多量に含み、暗褐色を呈する。諸磯 b 式の古段階に比定される。1409～1412は口縁部が「く」の字状に内折する深鉢の口縁部片である。胎土には細砂粒を多量に含み、やや緻密さに欠けるが焼成は比較的良好である。1409が波状を呈するほかは平口縁で、いずれも地文には縄文を施文しているようであるが、半截竹管状工具による集合沈線を施文することによって消されており不明瞭である。諸磯 b 式の新段階に比定されよう。1413は外反しながら開く口縁部片で、胎土には砂粒を多く含みもろい。ヘラ状工具による斜位の平行沈線文を施し、口唇部直下には磨滅のため不明瞭であるが、幅の狭い爪形文が施文されていた可能性が強く、諸磯 a 式と考えた方が良いのかもしれない。

1414～1418は同一個体で、頸部から外反しながら開く口縁部を有し、胴部でやや張りをもたせて底部に至ってしまう深鉢と思われる。口唇部はやや肥厚しており、鋸歯状隆帯の貼り付けが見られる。胎土には砂粒を多量に含み、焼成もややもろい。色調は外面が暗褐色で、内面は明褐色を呈する。文様は口縁直下から貝殻腹縁による波状貝殻文と平行線文を交互に施文し、口唇部にも貝殻腹縁によると思われる刺突文を施文する。内面は比較的丁寧なナデが施されている。文様や器形の特徴から、関東地方の霞ヶ浦周辺を中心に分布する浮島式・興津式に対比されるものと思われるが、新潟県内での出土例は現時点では確認されていない。

1419・1420は表面は磨滅のため不明瞭であるが、結節状浮線文によって文様を描くと思われ、鍋屋町式土器の範囲で捉えられるものである。いずれも胎土には石英・長石などの細砂粒を多く含み、赤褐色を呈するもろい土器である。

前期終末から中期初頭の土器（1421～1427）

1421・1422は半截竹管状工具とヘラ状工具による斜格子目文を施文するもので、同一個体である。

1423は胴部でやや張りもち直線的に立ち上る平縁の深鉢形土器である。地文に縄文(RL)を施文した後、口唇部直下から半截竹管状工具による半隆起線で横位区画文を描き、区画内には波状文を施文する。また口唇部直下と胴部には磨消しの無文帯を有する。胎土には石英・長石・褐色粒を含み、淡橙色を呈する。

1424～1426は比較的細い半隆起線で、横位及び山形の文様を構成するものである。1426は他に比べてやや太い半隆起線で、三角形印刻文を有する。1424・1425の内面には炭化物の付着が顕著に認められ、同一個体の可能性が高い。

1427は外反気味の口縁部の上端が内湾するもので、胴部は直線的にすぼまる深鉢である。図示はしていないが同一個体と考えられる破片から、「の」の字状と小さな山形の突起が口縁部に付けられていたものと思われる。文様は半隆起線を密に引き並べた集合沈線で構成するもので、頸部の無文帯を挟んで大きくは口縁部文様帯と胴部文様帯とに分けられる。口縁部文様帯は口縁直下と頸部に二条の半隆起線を巡らし、その間に半隆起線を羽状に充填する。胴部文様帯は上下に二分され、地文には縄文(LR)を施文する。上半には細い半隆起線文による直曲線文で区画した内部に斜格子目文を充填する。下半は縦位や羽状に器面全体を覆う。北陸地方の朝日下層式から新保式に対比されるものであるが、真脇遺跡〔小島1986〕での分類によれば粘土紐の貼り付けの有無によって前記2型式を区別している。これによれば粘土紐の貼り付けが認められない本土器は、新保式の古段階に比定されることになるが、中部高地の踊場式土器との関連も考慮しなければならないであろう。

後期の土器（1428～1435）

1428・1429は花弁状の刺突文を器面全体に施文する、三十稻場式の土器片である。胎土には白色粘土粒を含み、焼成は良好である。色調は内外面とも赤褐色を呈し、外面には炭化物の付着が著しい。

1430は直線的に立ち上る口縁部から胴部でやや膨らみ底部に向てすぼむ深鉢で、底部は端部が丸味を帶びて厚味がある。口唇部内側には太い沈線が一条巡る。胎土には石英・長石などの砂粒を多く含み、焼成は良好である。外面は明褐色、内面は暗褐色を呈し、胴部下半から底部にかけて二次焼成を受けて赤褐色に変色している。文様は地文に縄文(LR)を施文した後、胴部上半に2条の沈線を巡らし沈線間以外の部分の縄文を磨り消している。ただ、一部磨り消しが不十分で、縄文の残る部分が見られる。底部には網代編みの圧痕が認められる。堀之内2式から加曾利B1式あたりに対比されよう。

1431～1435はいずれも三仏生式の土器片である。1431・1432は縄文(LR)地文上に平行沈線文を横位に数段配した後に、縄文を磨り消す段が見られる。1433・1434は同一個体で、頸部から上で開く大きな波状口縁の深鉢である。波状の頂部には刻みを有する突起が付く。文様は曲線的な沈線区画文内に細かい縄文(LR)を羽状に充填する。胎土には石英・長石などの細砂粒を多量に含み、焼成は堅緻である。1435は1433と同様な器形を呈すると思われるもので、口唇部端で内折する口縁部片である。口縁部直下は磨いた無文帶で、以下には沈線による斜線文を施文する。外面は黒褐色、内面は明褐色を呈し、外面には炭化物の付着が著しい。

c) 土製品 (図版149～297)

ミニチュア土器 (1436～1439)

1436は推定口径9.2cm、高さ3.7cmを測る。胴部中央がやや湾曲して張り出す。無文。1437は口径5cm、高さ4cmで丸底である。半球状の形である。2本沈線による連弧文が4単位にめぐる。1438は推定口径6.8cm、高さ3cmで直線上に開く。無文。1439は推定口径6cm、高さ3.9cmを測る。直線上に開く。無文。

異形土製品 (1440)

細長い柱状の土器に沈線で文様を描いたものである。長さ6cm、幅1.6cmを測る。動物を模したものと思われるが、具体的に何なのかは明確でない。実測図上部が頭部、下部が尾部ではないかと思われる。尾部は跳ね上がっている。頭部正面には小円孔がある。

三角形土版 (1441)

一応三角形土版という名称を使用したが、むしろ形状的には三脚状である。三脚はほぼ対称で長さ約6cmを測る。厚さは1.5cm、脚部は三つ共にふんばる形で、中央腹部がへこんでいる。文様は沈線及び刺突によっている。

耳栓 (1442、1443)

1442は口径2cm、厚さ1.4cm、中央内径0.5cmの無文の耳栓である。外周中央はくぼんでおり滑車状である。外面赤彩が施される。1443は口径2.6cm、厚さ1.6cm、中央内径約1.5cmを測る無文の耳栓である。外周中央はくぼんでおり、全面に赤彩が施される。

土器片利用土製品 (1444～1448)

1444は小形土器の底部近くを利用している。四角形で一辺約4cmである。4面が面取りされている。1445～1448は、いわゆる土器製円盤と呼ばれているものである。1445～1447は円板状に打ち欠いただけのものである。1448は前記3点と異なり、内面がよく擦れている。また外面も擦れている可能性がある。

4 遺 物

〈出土土器観察表〉

1 住

番号	器種	分類			出土地点 (レベル) (m)	法量 (cm)	遺存	文様	色調・二次焼成・他 接合関係
		系列	器形	時期					
1	深鉢			中期後	1住一炉内	口／底 9.0	1/2	断面カマボコ状隆帯、深いなぞり、劍先文、繩文LR	にぶい橙 二次焼成 炉に使用
2	深鉢			中期後	1住一覆土	口 27.0	1/2	沈線、隆帯部ミガキ、繩文RL 胸部縦区画	にぶい橙
3	深鉢			中期後	1住一炉埋設	口 21.4		断面カマボコ状沈線、沈線部キザミ、繩文LR R、胸部縦区画	にぶい黄橙 二次焼成
4	深鉢			中期後				断面三角形隆帯渦巻、断面カマボコ状沈線、 沈線部キザミ、繩文RL	黄橙 二次焼成
5	深鉢			中期後	1住-78	口 18.6	1/2	口縁部断面三角形隆帯による渦巻、円形刺突、 胸部縦すり消し繩文、繩文RL	にぶい橙 二次焼成 オコゲ
6	深鉢			中期後	1住-35			縦すり消し繩文、繩文LR	にぶい褐 二次焼成 オコゲ
7	深鉢			中期後	9-E-11-7			縦すり消し繩文	にぶい褐 二次焼成
8	深鉢	F			3-C-18			把手、半隆起線文	にぶい橙 二次焼成
9	深鉢				1住-79	底 5.9		縦沈線	にぶい橙 二次焼成
10	深鉢				33-F-2①			繩文RL	にぶい橙 二次焼成
11	深鉢				1住-107			燃糸L	にぶい橙
12	深鉢				3-C-18			繩文LR?	にぶい橙

2 住

13	浅鉢		A		6-B-81			爪形文、繩文RL	橙
14	深鉢				2住一炉			ボタン状突起、繩文RL	灰褐 二次焼成
15									下半部強いオコゲ
16	深鉢				2住一炉内			矢羽根状沈線	明褐
17	深鉢				2住一炉内			半隆起線→沈線部なぞり。キザミ	橙

3 住

18	深鉢			中期後	3住一埋甕	口 17.6	1/2	断面三角形に近い隆帯による渦巻、劍先文、 沈線部深いなぞり、繩文RL	にぶい橙
----	----	--	--	-----	-------	--------	-----	---------------------------------------	------

5 住

19	深鉢			中期後	5住-2	口 19.4	2/3	波状4単位、口縁部にそって隆帯がめぐる。 隆帯上にヘラ状工具によるキザミ	にぶい橙 二次焼成 オコゲ
20	深鉢			中期後	5住-2-A			繩文L	橙 二次焼成
21	深鉢			中期後	5住-43			繩文L	橙 二次焼成
22	深鉢			中期後	5住一括	口／底 16.0		繩文LR、網代底	赤褐 二次焼成-オコゲ
23	深鉢			中期後	5住-82			繩文LR	赤褐 二次焼成
24	深鉢			中期後	5住-39			底部	褐 二次焼成

7 住

25	深鉢	隆-I b	G II	7住-2919-C (256.66)	口 38.2		基隆帯、半隆起線、眼鏡状把手、沈線部なぞり		褐 二次焼成
26	深鉢	隆-I c	G-b II	7住-78 (257.00)	口 14.6		波状4単位、基隆帯渦巻、半隆起線→沈線部 なぞり三叉文		明赤褐 二次焼成 オコゲ
27	深鉢	隆-I b	G-b	7住-P 1-71 (256.99)	口 26.5	1/5	波状4単位、波頂部眼鏡状把手、基隆帯によ る渦巻文、三叉文、下部無文		にぶい赤褐 二次焼成 27C-11
28	深鉢	隆-I		7住-P 2-4 (256.86)			半隆起線文、沈線片側辺にキザミ、三叉文(玉 抱き)		浅黄橙 二次焼成 7C住、27B-24
29	深鉢	隆-I ?	G-a	7住-691 (257.00)			小突起、半隆起線文		にぶい赤褐 二次焼成
30	深鉢	隆-I ?	I	7住-360 (256.94)			基隆帯渦巻、半隆起線、沈線部キザミ		明赤褐 二次焼成

番号	器種	分類			出土地点 (レベル) (m)	法量 (cm)	遺存	文様	色調・二次焼成・他 接合関係
		系列	器形	時期					
31	深鉢	隆一			7住-3964 (256.67)			基隆帶、半隆起線、沈線部なぞり	明赤褐 二次焼成
32	深鉢				7住-P 2-50			沈線	明赤褐 二次焼成 オコゲ
33	浅鉢				7住-488 (256.62)	口 29.0		口縁部隆帶による楕円区画、縄文RL	にぶい橙 二次焼成 7C住
34	深鉢	縄			7住-3897 (256.55)			逆U字状区画、半隆起線、沈線部なぞり 縄文LR	橙 二次焼成
35	深鉢	隆一			7住-3895 (256.64)	底 10.8		基隆帶、半隆起線文	黄橙 二次焼成(軽量) 7C住
36	深鉢	縄-XV	G-a		7住-2560 (256.40)			口縁部環状突起、縄文	にぶい橙 二次焼成
37	深鉢	縄-XV	A		7住-1290 (256.71)			口唇部圧痕波状、縄文LR	明赤褐
38	深鉢	縄			7住-2668 不明			隆帶、縄文RL	褐 二次焼成
39	深鉢	縄	E?		7住-3896 (256.51)			縄文LR	にぶい橙 二次焼成
40	浅鉢		G-a		7住-P 5-3 他 (256.30)	口 28.8		突起、口縁部無文、縄文RL	にぶい橙 27C-24、7B住
41	深鉢	縄-XV	B-a		7住-P 2-70	口 26.2	1/5	鋸歯状口縁、縄文LR	橙 二次焼成 27C-20、28C-14、7 C住、7D住
42	深鉢	縄-XV	H-a		7住-P 5-1	口 34.0		縄文RL	橙 二次焼成 7C住、7B住

7 A 住

43	深鉢	縄一	C-a	I	7住-3900 (256.13)	口 34.0 底 14.8 高 41.2	2/3	基隆帶、沈線部なぞり、基隆帶部分的にキザミ、L字及び波状沈線文様は3単位構成	暗赤褐 二次焼成
44	深鉢	縄一IV	A	I	7住一一括B	口 34.0	4/5	口縁部隆起による5単位楕円区画、沈線部刺突、下半部沈線による縦区画、ハの字状キザミ、縄文L	にぶい橙 二次焼成
45	深鉢	縄一VII	C	I	7住-3207他 (256.03)	口 21.4	2/3	口縁部沈線による三角形区画、沈線部キザミ、胸部上半沈線による横区画、縄文RL	暗赤褐 二次焼成 下半オコゲ
46	深鉢	縄一VI	C-b	I	7住-1921 (256.13)		1/3	波状4単位、口縁にそって沈線(刻み)がめぐる頸部には沈線(刻み)がめぐり突起が付される。胸部は縦区画、縄文RL	にぶい褐 二次焼成 10B住、13B住、8A住、 27C-15・20、27C-P 1、27B-20
47	深鉢	縄一VI	C-b	I	7住-3282 (255.98)	口 29.8		波状4単位、断面三角形隆帶による渦巻、沈線部なぞり、三叉文、波頂部小円孔、縄文RL	褐 二次焼成 28B-2
48	深鉢	隆一I b	G	II	7住-3892 (255.87)	口 15.4		入字状突起(内面)、眼鏡状把手、基隆帶(ハの字状沈線)、沈線部部分的なぞり	にぶい橙 二次焼成 27C-15・22・23、29B -P 7
49	深鉢	隆一III b	D-a		7住-3804 (256.14)	口 15.0		沈線部爪形刺突、眼鏡状把手	赤褐 二次焼成 7住
50	深鉢	縄一	D-b		7住-2055 (256.08)	口 17.6		有筋沈線、隆帶脇棒状工具によるなぞり、縄文RL	橙 二次焼成 7B住
51	深鉢	隆一III a	D-a	I	7住-3202 (256.06)	口 24.6		円孔のある入字状突起、沈線部爪形、眼鏡状把手細沈線	明赤褐 二次焼成 7住、7C住、27C-16、 27B-18
52	深鉢	縄-II a	H		7住-1625 (256.20)	口 15.4		眼鏡状把手、隆帶楕円区画、有筋沈線、縄文RL	にぶい赤褐 二次焼成
53	深鉢	縄-XV ?	G-a	II	7住-1871 (256.15)	口 35.0		口縁部玉抱き三叉文状突起、橋状把手、基隆帶、半隆起線文渦巻、文様帶は斜方向に流れ。縄文LR	にぶい橙 二次焼成 7B住、7C住、27C- 15・20 I、27B-20、27 D-10
54	深鉢	縄一VI		I	7住-3796 (256.13)			台形様波状口縁、沈線部に刺突、区画内細沈線	にぶい赤褐 7A住-括、7B住、28 B-20

4 遺物

番号	器種	分類			出土地点 (レベル) (m)	法量 (cm)	遺存	文様	色調・二次焼成・他 接合関係
		系列	器形	時期					
55	深鉢	隆-?			7住-1830 (256.24)			基隆帯、半隆起線	橙
56	深鉢	隆-			7住-3194 (256.31)			基隆帯渦巻、半隆起線、沈線部なぞり、隆帯上キザミ	にぶい赤褐 二次焼成
57	深鉢	隆-			7住-2420 (255.95)			基隆帯渦巻、半隆起線、沈線部なぞり、基隆帯上に爪形文、キザミ、三叉文	にぶい赤褐 二次焼成
58	深鉢	隆-I a	A-b		7住-3886 (256.09)			波状4単位、沈線による区画、沈線片側邊にキザミ	にぶい橙 二次焼成
59	深鉢	隆	G	II	7住-3848 (256.25)			基隆帯渦巻、半隆起線、沈線部なぞり、玉抱き三叉文	橙 二次焼成 27C-20、28C-20
60	深鉢	隆-II a	F-a	II	7A住-1539 (256.22)	口 20.2	1/5	眼鏡状把手、基隆帯による三角形区画 半隆起線→沈線部部分的なぞり、三叉文	にぶい赤褐 二次焼成
61	深鉢	縄-I	D	I	7A住-3594 (256.09)	口 18.7 底 8.8 高 [24.8]	1/3	隆帯、隆帯筋沈線、舌状隆帯、鋸歯状沈線、縄文L	にぶい赤褐 二次焼成 オコゲ
62	深鉢	隆-	G		7A住-1890 (256.17)			眼鏡状把手、半隆起線文	にぶい橙 二次焼成
63	深鉢	隆-			7A住-1523 (256.29)	底 15.4		半隆起線、沈線部なぞり	にぶい赤褐 二次焼成 オコゲ
64	深鉢	縄-II b?			7A住-1868 他 (256.17)			隆帯、沈線部刺突、縄文RL	橙 二次焼成-オコゲ 7住、27B-15
65	深鉢	縄-II	G		7A住-1954 (256.16)	口 43.4		はり付け隆帯、縄文RL	橙 二次焼成 7住-P2-33
66	深鉢		D?		7A住-1871 (256.25)	口 36.0		半隆起線文、三叉文	橙 二次焼成 補修孔 27C-20
67	深鉢	縄-XV	H		7A住-1792 (256.14)	口 35.4		縄文RL	にぶい橙 二次焼成 28B-9・19、28C-P 63
68	深鉢	縄-III	H		7A住-3848 他 (255.98)	口 17.8	2/5	小突起、口縁部無文帯、縄文LR継ぎくり文	暗赤褐 二次焼成 オコゲ
69	深鉢	縄-XV	A		7A住-1括 A (257.17)			小突起、縄文L	にぶい橙 二次焼成
70	深鉢	縄-	A		7A住-3762 (256.24)			沈線、縄文RL	にぶい橙 二次焼成
71	深鉢	縄-XV	A		7A住-3633 (256.12)			縄文RL	橙
72	深鉢	縄-XV			7住-1753他 (256.21)	口 18.4		縄文RL	褐 二次焼成-オコゲ
73	深鉢	縄-XV	E		7A住-1括 A (257.17)	口 34.0	1/4	小突起、縄文RL	にぶい橙 二次焼成
74	深鉢	縄-XV	D		7A住-1括 A (257.17)	口 28.2		縄文RL、口縁部に沈線	にぶい赤褐 二次焼成 7住、7A住、7C住
75	深鉢	縄-XV			7A住-3757 (256.02)			燃糸R	にぶい橙 二次焼成 27C-21・22
76	深鉢	縄-			7A住-P7 -1			隆帯(波状)、縄文RL	暗赤褐 二次焼成 7B住、7C住P7-3・ 6・2
77	深鉢	縄-XI a			7A住-1炉			縦はり付け隆帯、縄文RL	にぶい赤褐 二次焼成 オコゲ
78	深鉢	縄-			7A住-1括 B1	底 14.4		燃糸R、網代底	橙
79	深鉢	縄-			7A住-2438 他 (256.02)	底 14.6		縄文RL	にぶい赤褐 二次焼成 7住
80	深鉢	縄-	I		7A住-3319 他 (256.15)			有節沈線、縄文LR	橙

番号	器種	分類			出土地点 (レベル) (m)	法量 (cm)	遺存	文様	色調・二次焼成・他 接合関係
		系列	器形	時期					
81	深鉢	縄-X			7A住-3259 (256.26)			縄文RL	にぶい橙 二次焼成
82	深鉢	縄-X			7A住-1括 A			縄文RL	にぶい橙 二次焼成
83	深鉢				7A住-1848 他 (256.20)			竹管円形刺突	にぶい橙
84	浅鉢	北	A		7A住-3880 他 (255.95)	口 34.6		半隆起線文、沈線片側辺にキザミ	浅黄橙 7住、7D住、28C-P 1-6・52・54・26・62、 28B-20
85	浅鉢	北	A		7A住-1782 (256.11)	口 33.4		半隆起線文、爪形文	橙 7住
86	浅鉢	北	A		7A住-2064 (256.10)	口 43.8		半隆起線文、爪形文、三叉文	橙 7C住、7D住、27C- 20・14、27D-23
87	浅鉢	北	A		7A住-2031 (256.13)	口 40.0		半隆起線文、爪形文、三角印刻	浅黄橙
88	浅鉢	北	A		7A住-1588 (256.51)			爪形文、半隆起線文、玉抱き三叉文	浅黄橙
89	浅鉢	北	A		7A住-1804 (256.16)			爪形文、半隆起線文、三叉文	にぶい橙 27D-16
90	浅鉢	北			7A住-3586 (256.27)			半隆起線文、爪形文、三叉文	浅黄橙
91	浅鉢	北	A		7A住-3676 (256.10)			半隆起線文、爪形文	橙
92	浅鉢	北	A		7A住-1458 (256.40)			半隆起線文(沈線部なぞり)	赤褐
93	浅鉢	北	A		27-C-3②			半隆起線文	にぶい赤褐
94	浅鉢	北	A		7A住-3858 (256.09)			半隆起線文	浅黄橙
95	浅鉢	閑	C		7A住-3835 (256.07)	口 22.8		無文	明赤褐
96	浅鉢		B		7A住-2448 (255.80)	口 54.6		無文、口唇部玉抱き三叉文、細い半隆起線束、 口縁部赤色塗彩	灰白 28B-5

7 B 住

97	深鉢	隆-II b	G-a	II	7B住-1括 A-6 (256.53)	口 28.0 底 14.0	2/5	入字状突起、口縁部基隆帶渦巻、三叉文、胴 部基隆帶、半隆起線、無文帶あり、鶏冠状把手	赤褐 二次焼成-オコゲ 27B-23、28B-15・24、 27C-3・15・22、26C -8・10、28C-8、7 住、7D住、7A住、7 C住、10B住
98	深鉢	隆-I b	G-a	II	7B住-3958 (256.74)	口 32.4		口縁沈線部ペン先状連続刺突、眼鏡状把手、 基隆帶渦巻、半隆起線、沈線部なぞり、玉抱 き三叉文	橙 二次焼成 7C住、28C-15
99	深鉢	隆-I b	G-a	II	27-C-14②	口 23.2	1/5	入字状突起、基隆帶、沈線部やや深いなぞり、 玉抱き三叉文、(逆U字状基隆帶)	にぶい橙 二次焼成 オコゲ
100	深鉢	隆-I b	F-	II	7B住-2294 (256.34)	口 18.4		基隆帶、半隆起線、沈線部なぞり	明赤褐 二次焼成 オコゲ
101	深鉢	隆-		II	7B住-2252 (256.61)			玉抱き三叉文、半隆起線文、沈線部なぞり	橙
102	深鉢	隆-I c	C	II	7B住-2501 (256.42)	口 14.6		基隆帶渦巻、沈線、橢円区内刺突列点文	明赤褐 二次焼成 オコゲ
103	深鉢	隆-II b	C-b	II	7B住-2095 (256.39)	口 18.0		小突起、基隆帶渦巻、半隆起線、沈線部なぞ り	橙 二次焼成-オコゲ
104	深鉢	隆		II	7B住-2261 (256.59)			基隆帶、半隆起線、沈線部なぞり	淡橙 28D-1、27C-20、27 D-17、7B住、7C住
105	深鉢				7B住-2536 (256.51)			環状突起、沈線	浅黄橙
106	深鉢	縄-X			7B住-2119 (256.55)			隆帶、有節沈線(刺突状)、縄文RL	にぶい橙